

■議員報酬・政務活動費 審議会に諮問

市は7月20日、市議会議員の議員報酬と政務活動費の額について意見を聞くため、第1回特別職報酬等審議会を開き、諮問をしました。

現在の議員報酬の月額、議長が45万9000円、副議長が38万3000円、議員は36万円です。また政務活動費の年額は、1人当たり9万円が支給されています。議員報酬は平成17年の市発足時に決定したもので、政



齊藤会長に諮問書が手渡された

務活動費については、平成18年2月の審議会の答申を基本に決定したものです。

今回の諮問は、議員報酬および政務活動費の額、見直す場合の改定時期についての検討を求めています。答申は、本年10月を予定しています。

■「景観づくり住民協定」明科駅周辺で認定

市はこのたび、景観づくり住民協定として「明科駅周辺国道19号沿線景観形成住民協定」を新たに認定しました。市では26番目、明科地域では初めての認定となります。

今回の協定は、明科駅を中心とした国道19号線沿い約800㎡の区域が対象となります。協定が結ばれたことにより、地元住民の皆さんは、建築物の形態やデザイン、屋外広告物の表示

などに関する自主的なルールを定め、より良い景観づくりを目指してまいります。

認定代表者の高橋公位さん（明科中川手）は「今後は駅周辺に花などを飾り、温かみのある街にしていきたい」と景観づくりの期待を述べました。



7月20日に認定書が交付された

■ラウンドアバウトサミット 安曇野で開催

信号機に頼らない環状交差点「ラウンドアバウト」の普及に取り組む「ラウンドアバウトサミット in 安曇野」が7月27日、28日の両日、豊科公民館を主会場に開かれました。

この会議は、全国14市町でつくるラウンドアバウト普及促進協議会が主催で、全国から関係者約330人が参加し、取り組みの報告や専門家との情報交換などを行いました。



全国から関係者約330人が集まった

市では、平成27年に供用が始めた「本村円（ほんむらまどか）」の事例を発表。アンケート調査で、78・1%が「通行しやすくなった」と回答した結果などを報告しました。

健康づくり情報

国保加入の皆さんへ

40歳以上の人は 年1回特定健診を受けましょう

特定健診を受診すると、脳卒中など重症な病気の危険因子がわかります。

40歳以上の国保加入者で 集団健診未受診の皆さんへ

本年度の集団健診が8月9日に終了しました。他の特定健診として、8月28日から始まる医療機関での個別健診や、通年で実施している人間ドックがあります。市の費用助成がありませんので、受診していない人は、これらを受診しましょう。

年1回特定健診で、健康状態を確認

健康に自信がある人の場合、まず特定健診を受診しましょう。生活習慣病は自覚がないまま進行します。重症な病気になる前に、自身の健康状態を確認するためにも受診しましょう。

現在通院中の人の場合 他リスク発見のために受診しましょう

治療中の症状とは別に、他の生活習慣病の予防・早期発見をするためにも、健診で身体の状態を把握することが大事です。健診結果から、脳卒中や心筋梗塞等の重症な病気になる危険因子の数や状態、放置すると将来どうなるか、危険因子を減らす方法などが分かります。

年1回特定健診を受診して、健康状態をチェックし、健康で過ごしましょう。

国保年金課国保年金担当
☎71・2473 ☎71・2503

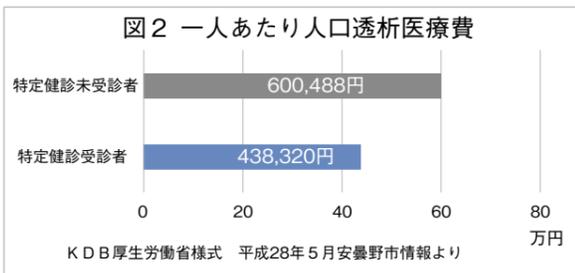
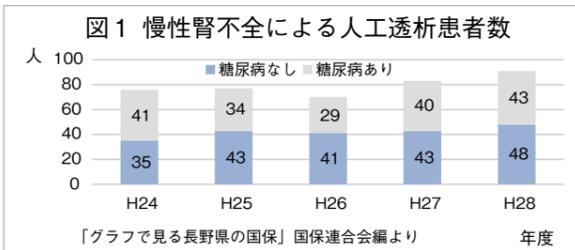
一増える慢性腎不全に歯止めを

高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病は、血管を傷めるため、脳卒中や心筋梗塞、慢性腎不全など重症化した病気の危険因子になることがわかっています。

市の慢性腎不全の状況

市の国保加入者を見ると、慢性腎不全による透析患者が年々増加しています。その内約半数が糖尿病による腎臓障害（糖尿病性腎症）です。（図1）

特定健診を受診することで、生活習慣病のリスクがわかり、生活習慣を改善すれば慢性腎不全の予防にもつながります。また、毎年特定健診を受診している人は、未受診の人に比べて医療費が低く、重症化が抑制されています。（図2）



特定保健指導で、生活習慣を改善しましょう

特定健診では、受診結果に応じて特定保健指導が行われます。保健師・管理栄養士が生活習慣改善をサポートします。